

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

平成 29 年 3 月 1 日発行

No. 12

第1学年ベース『入学前交流会』を終えて

第1学年主任

伊藤 雄一

2月18日（土）に、来春、本校に入学を予定している小学6年生と1年生の「入学前交流会」を行いました。1年生の総合的な学習の時間「ベース」では、「入学予定者が、中学校生活に対する不安や緊張を解消し、期待を抱くことができるために、どのようなかわりや内容が必要なのだろうか」という課題を設定し、生徒の主体性を重視した学習に取り組んできました。4月最初から、各教科や道徳の時間、生徒会活動、行事など1年間で学んだことのすべてを発揮する場として「入学前交流会」を総合的な学習の時間「ベース」に位置付け、自分の成長を実感する場となってほしいと期待をもって臨んできました。

交流会直前には学年内でリハーサルを行いました。これが互いの成長を促すよい機会になったと、多くの生徒がベースの振り返りシートに書いていました。また、仲間からの意見によく耳を傾けて寛容に受け止め、さらによりよいものを目指して限られた時間の中で工夫し、協力して当日を迎えたことについても書かれていました。1年生は、準備の活動を通して様々なことを学び成長していることが伝わってきました。当日、生徒の交流の様子を見ると、これまでのベースで学んだことや、それを下支えする各教科での学びが随所に見られた内容になっていました。

入学前交流会に参加した多くの小学6年生から「中学1年生の皆さんのおかげで中学校に入学する不安が消えました」、「中学1年生の皆さんが優しく接してくれ、わかりやすく学校生活を説明してくれてうれしかった」という言葉をもらいました。その小学6年生のアンケートを見た1年生の表情には、思わず笑顔があふれていました。その姿は、どこか誇らしく、たった数日の違いですが、頼もしく感じました。前述したベースの振り返りシートにも、「自信がなかったけど、小学6年生のアンケートを読んで自分ががんばったことに自信がもてた」、「アイスブレイクや相手意識をもった自己表現の仕方などこれまでの学びを活かすことができた」、「交流会が終わったあとは達成感がもてた」などの記述があり、自分の成長を確かな手応えとして感じている1年生が多くいました。また、「交流会を行うことができて、自分自身にとってもよかった」、「自分自身も先輩にな



【本校1年生が中学校の生活について説明する様子】



【中学校生活をカルタにした交流の工夫】

る不安が解消された」、「小学6年生のおかげで先輩になる自信がついた」という声も聞かれ、新入生と自分双方にとってプラスになったことを感じ取り、自分の学びの糧にする姿に第71期生の成長を感じました。

この「入学前交流会」を通して、1年生が見せてくれた姿はまさに「理想を紡ぎ出す」姿の一つであり、1年生の学年目標である「流星群」を体現したものになったと思います。中学1年生としての時間は残りわずかですが、「入学前交流会」で出会った第72期生との関わりは、今スタートしたばかりです。「入学前交流会」でもった気持ちを大切に「先輩」として第一歩を踏み出した第71期生の成長を楽しみにしています。

拓北・あいの里教育フォーラム 2017が開催されました

2月11日（土）に、あいの里まちづくりセンターで「拓北・あいの里教育フォーラム 2017」が健康をテーマに開催されました。会場には、拓北・あいの里地域の小中学校や養護学校、町内会、社会福祉協議会などの諸団体の活動を紹介するコーナーがあり、本校では1学年の学校宿泊での取り組みを「マップづくりを通じた地域連携と防災学習」としてポスターにまとめ掲示しました。フォーラムに参加した方々には、興味深くそのポスターを見ていただき、附属中学校の取り組みを地域に発信するよい機会となりました。北海道札幌拓北養護学校の校長先生からは「大変すばらしい活動で、来年は是非養護学校まで来て、一緒に交流ができるとよいですね」との感想をいただきました。これからも、このような地域の行事に参加し、本校生徒の学びの成果を地域の方々に知ってもらう機会を大切にしていければと考えております。



【本校1年生の活動をまとめたポスターを見る地域の方】

校舎環境整備、ありがとうございます

2月25日（土）に父親委員の方々による校舎環境整備が行われました。今年度は、玄関ホールから体育館までの廊下壁面のペンキを塗っていただきました。ここは、卒業する3年生が式の前後に通る花道とあって保護者の方々の志気も一段と高まっていました。

この日は、父親委員の皆様のほか、佐々木校長先生や教員数名、生徒も参加しての活動となりました。準備から塗装前のマスキングまで抜群のチームワークで作業が進んでいきます。当初予定していた場所には、見る見るうちにペンキが塗られ、明るさが増していきました。ペンキを塗り進めるうちに、体育館近くに設置してある各部活動の用具入れも塗ろうかということになりました。結構な重さがあり、移動や塗装にもひと手間かかりましたが、通称通りの「ホワイトボックス」がよみがえりました。



【父親委員が協力してペンキを塗る様子】

活動後の懇親の場でも、互いの仕事ぶりや一年間を通しての環境整備や藤華祭の父親合唱団の活動などを振り返ってねぎらい合い、すでに来年の活動に思いをはせて話に花が咲いていました。加々見父親委員長が開会式でお話しされていましたが、父親同士が結束して活動に取り組むこと自体に意義があることを実感するひと時でした。休日にもかかわらず、環境整備にご協力いただきました皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



【真っ白く塗られた壁面をバックに記念撮影】

登下校マナー集会を開きました



以前、学校だよりや家庭連絡プリントによってお伝えしておりましたように、本校生徒の登下校時の公共交通機関の利用に関わって、運転手や市民の方などからマナーについてご指摘いただくなどの状況にありました。そこで、注意喚起だけではなく、先生方も下校バスに同乗するなど、生徒のマナー改善を促してまいりました。ご家庭におかれましても、話題にあげていただけているかをご察いたします。先日、生活委員会主催で「社会の一員としての自覚と責任を認識し、登下校時におけるルールやモラルの意義について考え、互いに意見を伝え合い、協同して今後の方向性を見いだす」ということをねらいとして、登下校マナー集会を開きました。本校では、教師からの注意だけでなく、このような生徒の主



【通学方面別に議論する様子】

体的な取り組みによる問題の解決を大切にしてきました。生徒は、JR、麻生便のバス、栄町便のバス、環状線のバス、徒歩というように、利用している交通機関、通学形態で分かれて意見交流した後、全体で今後の方向性や意識の共有を図りました。生徒からは、「今日考えた対策について、一人一人が継続した取組を行うこと、各自がブレない自分を持ち続けてください。」という総評があり、今後の改善に向けた決意がどれだけ確かなものかが問われる結びとなりました。

学校点描

毎年、この時期になると職員室の前に、雛人形が飾られます。仕事の合間に飾ってくれているのは、校務補の渡辺真由美さんです。毎年のことながら、配置と小物の持たせ方が難しいそうですが、手伝ってくれる生徒もいて助かっていますとのことでした。生徒の皆さんの健康を願い、季節を感じてくれたらという思いで心を込めて飾っています。



3月

3年生は卒業に向け、1、2年生は進級に向け、残り少ない今年度の学校生活を締めくくる月です。1年間の学びと成長を、生徒、保護者、教職員で共有しましょう。

日（曜日）	行事等の予定	最終下校時刻
1（水）	研究日	16：05
2（木）	昼短縮日課 放）Fプロ活動	16：50
3（金）	2年トランク座談会（5,6校時）	16：50
4（土）	部活動可	
5（日）	部活動可	
6（月）	3年生公立高校入試下見	16：50（1、2年生） 11：10（3年生）
7（火）	3年生公立高校入試1日目 放）Fプロ活動	16：50（1、2年生） 11：45（3年生）
8（水）	3年生公立高校入試2日目 研究日	16：05
9（木）	3年生特別日課開始 職員会議（5時間日課）	15：20
10（金）		16：50
11（土）	部活動可	
12（日）	部活動可	
13（月）		16：50
14（火）	卒業式総練習 1、2年生卒業式準備	14：10（1、3年生） 16：15（2年生）
15（水）	第69回卒業証書授与式 卒業を祝う会	12：50
16（木）	1、2年生個別懇談①	13：10
17（金）	1、2年生個別懇談②	13：10
18（土）	部活動不可	
19（日）	部活動可	
20（月）	春分の日 部活動可	
21（火）	1、2年生個別懇談③	13：10
22（水）	1、2年生個別懇談④ 研究日	13：10
23（木）		16：50
24（金）	修了式・離任式	12：20
25（土） ～4月5日（水）	春季休業日	